

『甲斐市民対話集会』会議録

日 時：平成 25 年 9 月 7 日（土）19 時～20 時 45 分

会 場：岩森区公民館

参加者：岩森区民 38 名

傍聴者：3 名

対応者：保坂市長、土屋副市長

テーマ担当者：長田総務部長、米山建設産業部長、保延消防防災対策室長、奥野建設課長
長谷川消防防災係長

事務局：小田切企画政策部長、有泉秘書政策課長、長田総合政策係長、古屋

○市長あいさつ

- ・地域で自主的に意見交換や、行政のことを話す機会を企画していただきありがたい。
- ・塩崎駅整備計画について、南口は洋風、北口は和風の駅にしたいと考えている。
- ・塩崎駅アンダーガードについて、2 車線にして歩道を広げる。工事に 3 年かかるので、通行止めになるが、ご協力をお願いしたい。
- ・塩崎駅の桜の木の伐採について、双葉西小の児童などから桜を切らないでほしいという要望があったが、先日学校にお願いに行き、児童からも了解を得た。

○防災啓発ビデオ視聴

『水害発生！～命を守る日頃の備え～』（約 15 分）

○資料説明（岩森区長）

- ・岩森自主防災組織の組織表は 20 年ぐらい前に作ったが、旧双葉町が示した雛形に入れただけではないか。
- ・地図については岩森区に関する洪水・土砂災害・地震ハザードマップの危険箇所等をまとめた。
- ・過去の東川の災害について調べたところ、昭和 15 年に岩森橋上流で決壊があった。昭和 25 年前後に J R の東川ガードの上流あたりで決壊があった。最近では平成 15 年度に岩森橋のギリギリのところまで水位が上がった。また、昨年 9 月にも大雨が降ったため災害に備えて一次避難場所の公民館を開いた。

○対話

- 発言 A**：災害時の連絡の方法について、自治会の連絡手段はどうなっているのか？市役所の無線はデジタル化していると思うが、昔のアナログの無線機など余っていないか？そういったものを活用できれば、予算をかけずに連絡手段を確保できると思う。
- 消防室長**：アナログの無線機については 30 年以上前に整備したため、既に部品も生産されておらず使えない状況である。無線機については今年度整備を始め、まず消防団に貸与する。

発言A：最低限区長さんには無線を配ってほしい。予算をかけずに対応してほしい。

消防室長：来年度にむけて予算をかけて整備する予定です。

発言A：予算をかけないで整備することは出来ないのか。

市長：アナログ無線は、使用できない前提です。デジタル無線を7月に消防団の分団長に配備した。
来年度、消防団の各部と区長に対して配備する予定である。

発言A：高いお金をかけて整備するしか方法がないのか。

市長：競争するので、予算より安く出来る。また、新しいものは遠距離まで届く。

消防室長：先日交信の訓練を行ったが、竜王庁舎と双葉間でも交信可能で災害時には活用できると判断している。他の通信手段が使えなくなっても対応できる手段と考えています。今年と来年の2年計画で整備予定です。できるだけ早く対応したいと考えております。

発言B：①岩森には一次避難場所が3箇所あるが、3箇所間の連絡手段はどう考えているか。

②東川が氾濫したら、指定避難場所である双葉西小には避難できないと思うが、そういう場合はどうしたらいいか、避難場所の指定の方法も含めて教えてほしい。

③東川について一級河川なので県の範疇だと思うが、整備をお願いしたい。

④がけ崩れの危険がある地域もあるので整備をお願いしたい。

区長：まずは自分の命を自分で守るのが、基本だと思う。自主防災組織については組長さんたちを集めて、見直しする場を設けたい。

消防室長：①消防団と区長には無線を配布するが、内部の連絡は区で無線機などを用意していただきたい。無線機は資機材の補助金の対象となるので、相談してほしい。

消防室長：②双葉西小を指定した経緯があると思うが、避難所の代替地があるか調査したい。

建設産業部長：③空石積みが緩くなっている部分については、県に対して来年度補修するよう依頼をした。また、JRガード下については詰まる危険があり、浚渫（川や堀などの水底をさらって、深くすること）についても毎年依頼している。

建設産業部長：④がけ崩れについては、指定地域にはなっていないが、市道に面する部分については、もう一度検証して危ない部分は整備したい。

発言C：河川改修について前の区長の時にもお願いしたが、改善されていない。上流部分にも危険な場所があるが、今後の改修の見通しを教えてほしい。

建設産業部長：上流まで県と一緒に歩いて現地を確認しました。県に対応を依頼しております。

発言D：空石積みの部分は古くていつ崩れるか心配している。そこを重点的にしてほしい。

建設産業部長：空石積みについては雨水が浸透するメリットもあり、全て悪いわけではない。県の予算もあるので、全て直すことは出来ないが、危険な部分はチェックして予算をつけるよう依頼した。

区長：穴の開いた部分は連絡した2日後には県で補修をしてくれた。岩森橋の下流については比較的危険性が高いと感じたので、まずは危険な場所から修繕してもらいたい。

発言E：岩森地区は県内や市内では危険性が高いのか。

発言F：県下で危険な箇所は何千箇所とあるので、整備してもらうためには陳情を強く続けるしかない。敷島地区などと比べると、土砂災害の指定地区は少ない。県下でも良いほうだと思う。人間関係で住みよい、災害に強いまちにしてほしい。

市長：日常地域を歩いて危険な場所など確認してほしい。行政にも気づいた所を指摘してほしい。指定避難場所に避難できない場合など、3日間はすぐ逃げられない場合に備えてほしい。

区長：私見だが、地震やがけ崩れの危険は大丈夫だと思う。東川の氾濫の危険さえなければ本当によいところだと思う。

建設課長：東川補修については県予算なので今ここではっきりとは言えないが、修繕が決まり次第報告したい。地震の危険については、地震ハザードマップの黄色い部分は100軒家があれば5軒倒れる危険がある地域です。甲斐市は震度6強以上の地震の発生は予想されておりませんので、地震による被害の想定は出来ない数字がありますので報告します。

消防団：消防団の人員状況について報告させていただきます。双葉2分団2部の定員は25名ですが、19名しかおりません。岩森地区については、定員が5名ですが現在2名しかおりません。人が少なく活動に苦慮しておりますので、ご家族・近所のかたに声をかけていただき、消防団への入団にご協力いただきたい。

発言G：防災訓練では、消火器の使用や土のうの積み方などでいねいに指導していただき、ありがとうございました。消防団の皆さんには一年に一度は指導をお願いします。

発言H：消防団の人員が少ないが、50代や60代でも力になれる人がいると思う。

消防団：訓練などで重いホースを持つこともある、60代では難しいかもしれない。体力のある方が協力していただけるのならありがたい。

区長：消防団と一緒にやるのではなく補助分団のような形で、消防団員がいないときにポンプを暖めたりなどできることがあるので、やる気のある消防団OBの活用も検討してほしい。

総務部長：市の新人職員が2年間消防団に入る制度をはじめている。災害の時には職員は職員としての仕事もあり、地元を最優先にはできないので、まずは地元で勧誘していただくのが優先と思う。また、消防団OBに初期消火など出来ることをしていただく機能別消防団の導入も検討している。

発言I：JRの側道は狭いのに、交通量が多くスピードを出す車が多いため危険を感じる。用水路を暗渠にするなど道路の拡幅は出来ないでしょうか。

市長：昨年、川へ落ちる危険があるという陳情があり、蓋をかけた部分があるが、道路の拡幅には沿線住民の協力も必要なので、難しい。

区長：待避所を設けていただくなどお願いしたい。

建設産業部長：現地調査をして、検討したい。

発言J：4年程前に都市計画マスタープランに参加し塩崎駅の改修をお願いしたが、こんなに早く事業化していただけたとは思っていなかった。この場を借りてお礼申し上げます。

発言K：市役所の朝顔の緑のカーテンがすばらしかった。来年は私も試したい。

発言L：市では消防団員募集策を検討しているか？例えば若い消防団員の市町村民税を優遇するなど、消防団に入るきっかけ作りをしてほしい。

市長：待遇の改善は必要だが税優遇は難しい。市の職員が消防団に入る制度は全国でも初めてで、消防庁でも紹介された。竜王2分団では、商店街と協力して割引サービスを行っている。

市長：振り込め詐欺について、富士山世界遺産登録を利用した新手の詐欺が発生しているので、気をつけてほしい。また、他人の子もほめて叱る運動についても協力をお願いする。団子新居の交差点に交通安全のため、パトカー風の車両を設置した。

発言M：今夜、双葉の体育館で子供の映画を上映すると聞いたが、夜間に人通りの無いところでそのような行事をやるのは防犯上危険ではないか。

市長：商工会青年部で野外映画を企画していたと思う。そのような意見があったことを商工会にも伝える。

区長：市長や役所の人と身近に話が出来てうれしく思っております。ありがとうございました。

20時45分 終了